

平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

1 はじめに 25年度経過報告

特定非営利活動法人 東京養育家庭の会

①養育家庭とこども達への支援の充実

- 2年目を終えた里親支援について運用面で問題点の報告がみられた。里親専門相談員が施設に配置されたが、十分に機能を発揮できない状態も続いている。
- 支部を活動の原点とする方針は、サロンや児童相談所をベースに徐々に定着した。里親と児童相談所との間の垣根が未だ高いという指摘もあった。
- 小学生低学年を対象とした夏の臨海教室は、児童養護施設と一緒に集団生活する子供の活発な姿が見られた。会津里親会協力で実施した夏の里山体験、冬のスキー体験も好評であった。
- これまで取り組んできた18歳問題については、IFCOユース活動につながる事が実感できた。高校生は資生堂による巣立ちのフェスティバル、アン基金による自立講座も好評であった。里親に着目した慰労と感謝の集いも関係者参加を得て所期の目標を達成できた。

②IFCO大阪大会に向けての取り組み

9月に開催されたIFCOは大きな成果を得ることができた。当会としては東社協児童部会、乳児部会の協力が得られたことは幸であった。中でも乳児院・児童養護施設・若者支援グループ・里親が一堂に会してエントリー会議の開催ができたことは画期的なことであった。会議の実施からIFCO報告会にいたるまで、多くの方の協力で所期の目的を果たすことができた。

③研修事業の充実

一部の研修では夫婦で参加する方式になったが、里親の協力を得ながら対応することができた。また、支援員連絡会で経験を出し合うケース研究を毎回継続して実施できた。

④その他

- 普及啓発の推進：リーフレット、ポスター、ホームページ、体験発表への協力に取り組んだ。
- 執行体制強化：事務処理を中心に行っていたミーティングを「運営会議」と名称を変更して、軽易な決定に責任の所在を明らかにすることにした。理事会と支部長会を合同で一部実施してみたが、役割の違いが課題として残った。
- 理事の支部訪問は内容のある話ができ効果のある企画であった。
- 全里会・関プロ：本部が都内にある関係からさまざまな場面に参加し、運営に貢献できた。そこで得た情報を会の運営に反映することができた。
- 「明日ママがいない」：12月から3月まで日本テレビのドラマが争点となった。全里会の方針に沿って対応した。

2 事業の実施に関する事

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(A) 養育家庭に対する支援事業	① 全体会交流会事業 東京都と共催で養育家庭の交流を開催し、こども達同士の交流も進めます。	11月9日	上野動物公園	12名	全養育家庭 大人 107名 こども 34名	27
	②里親交流事業 前年度に続き、社会へ巣立たせた里親の集いを開催。	3月16日	中野 サンプラザ	4名	里親 9名	43
	③里親促進事業 22年度から全国里親会里親促進の補助金が廃止された関係から、支部活動の財源確保をした。	10月13日	各支部	3名	各支部	262
	④つなぎ資金の運営 里子の進学・就職に必要な資金の一時的代替。	随時	養育家庭 連携室	1名	1家庭	特別会計
	⑤東社協との連携(児童養護施設) 評議委員会、里親制度支援委員会、友愛互助会、自立スタート支援委員会に参加します。児童養護施設との交流を進めます。 IFCO エントリー会議参加	随時	都内	3名	東京都の 全養育家庭	

(B) 養育家庭で育つ子どもへの支援事業	① 自立支援交流会 ・高校生期からの交流をIFCO大阪大会にて実施。 ・18歳後の生活の確保に向けて様々な試みを進めます。ふらっとホーム事業との連携も指向します。併せて思春期ケース会議を開催。	3月2日	資生堂汐留ビル	2名	養育家庭で育つ高校生 9名	0	
	② 子供交流会 ・小中学生を対象とした野外活動や他県里親子宿泊交流実施。	8月4～6日	千葉県興津	2名	小学生4名	113	
		8月2～4日	南会津市	2名	小学生4名		
	③招待行事 a.サマーキャンプ・デイキャンプの実施。 (アサヒKIDSプロジェクトと共催) b.その他 スポーツ観戦・観劇・音楽鑑賞・スポーツ体験の実施 (ヤクルトスワローズ、オンワード樺山、各種団体からの招待)	5月26日	ディ・キャンプ 葛西臨海公園	2名	小・中学生 8名	10	
		12月7日	ディ・キャンプ 埼玉県	2名	小・中学生 5名		
		8月2・3日	キャンプ 奥多摩	2名	小・中学生 9名		
		随時	各種団体の招待により異なる	4名	養育家庭で育つ里親子 約800名		
	(C) 養育家庭及び養育家庭制度に関する情報収集及び情報提供事業	① 第59回 関東甲信越里親研究協議会大会の企画に参加。	7月6日	横浜市	1名	当会の養育家庭 7名	11
		② 第59回 全国里親大会 IFCO大阪大会に参加。	9月13～ 16日	大阪府	3名	当会の養育家庭 大人 20名 こども 7名 ユース 14名	193
		③関係機関との交流 (全国児童養護施設協議会・東社協児童部会・等)	6月 10月	都内	3名	養育家庭 17家庭	15
事業 (D) 養育家庭に関する普及啓発	① 会報の発行 会独自の会報を発行。	7月 11月 3月	都内	3名	会員及び関係機関 300部×3	63	
	③ 養育家庭制度に関するPR 養育家庭制度及び会の活動を紹介し、広く里親制度を啓発するため、ホームページの活用、リーフレット、ポスターを作成。	随時	都内	5名	都内全域	26	
	③勉強会 里親に対する研修・里親及び里親関係者、一般に対する勉強会の開催	6月 10月 2月	都内	1名	養育家庭 12名	3	
(E) その他事業	①その他 ・IFCO大会 (全里大会) ・治療的な養育に関する研修・収集						

(F) 養育家庭に対する教育事業(受託事業)

<p>里親養育力向上計画総合プログラム事業</p> <p>① 里親研修事業</p>	随時	都内	11名	東京都の里親家庭	特別会計	
	毎月1回発行	連携室	6名	東京都の里親家庭		
	③ホームページの管理	随時	連携室			2名
	④普及啓発活動 都や区市町村と協力し、養育家庭制度の普及啓発のための体験発表等	随時	児童相談所 都内全域	15名		
	⑤支援員連絡会・勉強会	年7回	児相センター	2名		養育家庭支援員22名
	<p>養育家庭支援事業</p> <p>養育家庭への支援 各児童相談所ごとに支援員を配置し、地域の児童相談所と連携して養育家庭に対する支援活動。</p>	随時	各児童相談所 他	22名		養育家庭とそこで暮らし育つ子供